

事業紹介



会津電力株式会社



会津電力株式会社 会社概要

商号	会津電力株式会社	
所在地	福島県喜多方市	
設立年月日	2013年8月1日	
役員構成	磯部 英世 代表取締役社長	有限会社大和川ファーム会長
	山田 純 取締役会長	元クアルコムジャパン（株）代表取締役会長兼社長
	佐藤 彌右衛門 相談役	合資会社大和川酒造店 代表社員
	折笠 哲也 常務取締役	AiENERGY(株) 代表取締役
	五十嵐 乃里枝 監査役	アイパワーフォレスト(株) 代表取締役
主な事業内容	自然エネルギーを利用した発電事業及び電気・熱エネルギー供給事業	





理念 エネルギー革命による地域の自立

地域内で資金を循環させ、地域の自立を実現することがわたしたちの理念です。

8 市町村

喜多方市、磐梯町、猪苗代町、西会津町、北塩原村、
只見町、三島町、昭和村

5 金融機関

東邦銀行、福島銀行、大東銀行、会津信用金庫、
会津商工信用組合 「会津地銀 5 行全て」

20 企業

県内上場企業、県内本社大手スーパーなど

個人 50

合計 83 団体・個人 2022年6月現在

ただし株式の2/3以上は役員が保有

会津電力グループ 全発電所地図

2021 年 3 月現在

太陽光
発電所 全88カ所

合計 6,107 kW

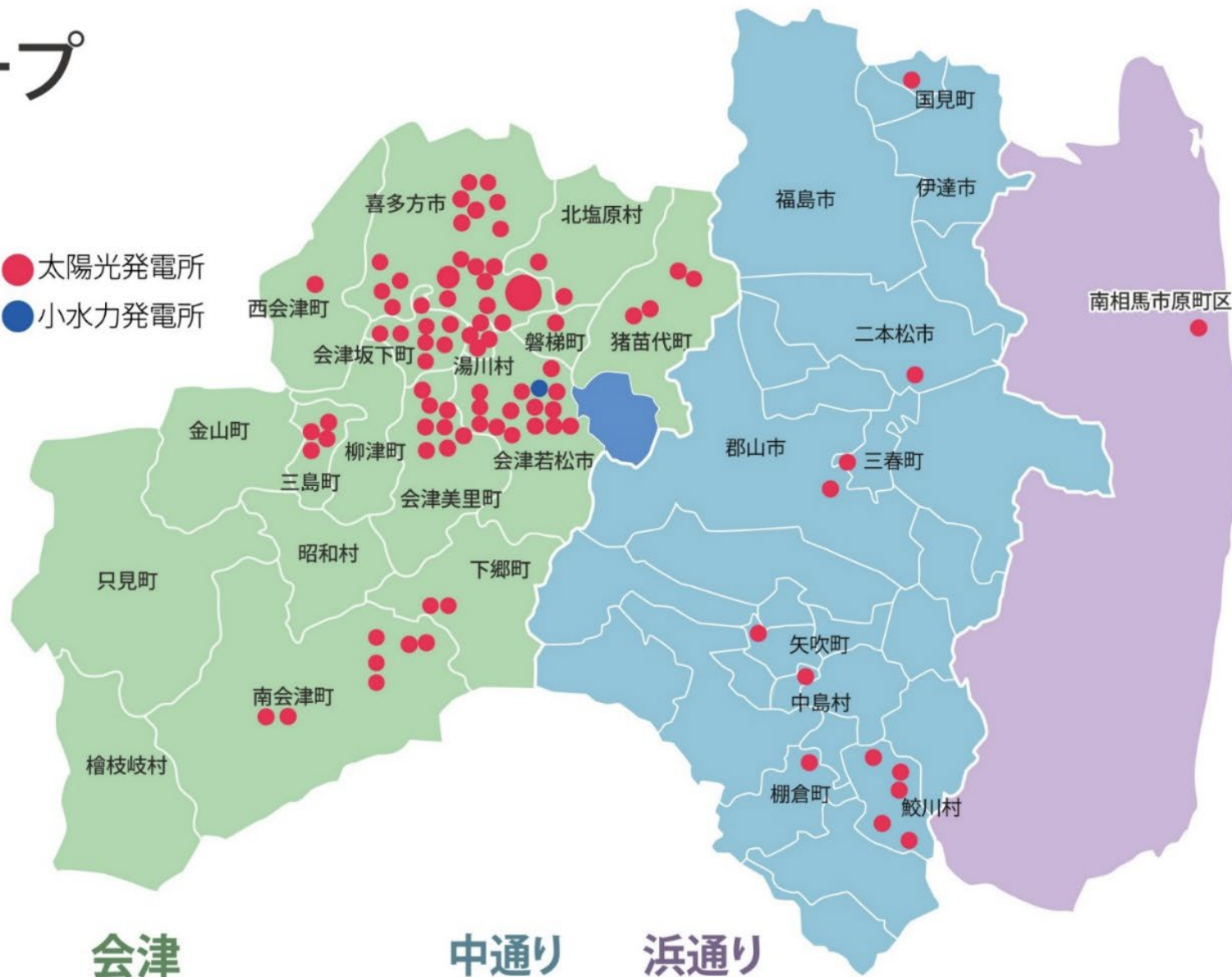
一般家庭 約1,830世帯分

小水力
発電所 1カ所
戸ノ口堰小水力発電所

31 kW 一般家庭
約42世帯分

全発電所
合計 6,138 kW

● 太陽光発電所
● 小水力発電所



会津 中通り 浜通り
太陽光 75 小水力 1 太陽光 12 太陽光 1

全 89 カ所

戸ノ口堰小水力発電所

会津若松市初の小水力発電所 2019年4月稼働



設備概要

発電所形式：流れ込み式

有効落差：19.5m

導水路管長：163.1m

水車形式：ポンプ逆転水車

水車流量：0.236m³/s

最大出力：31.4kW（定格出力38.0kW）

売電単価：34円/kWh

売電先：東北電力株式会社

運転開始：2019年4月

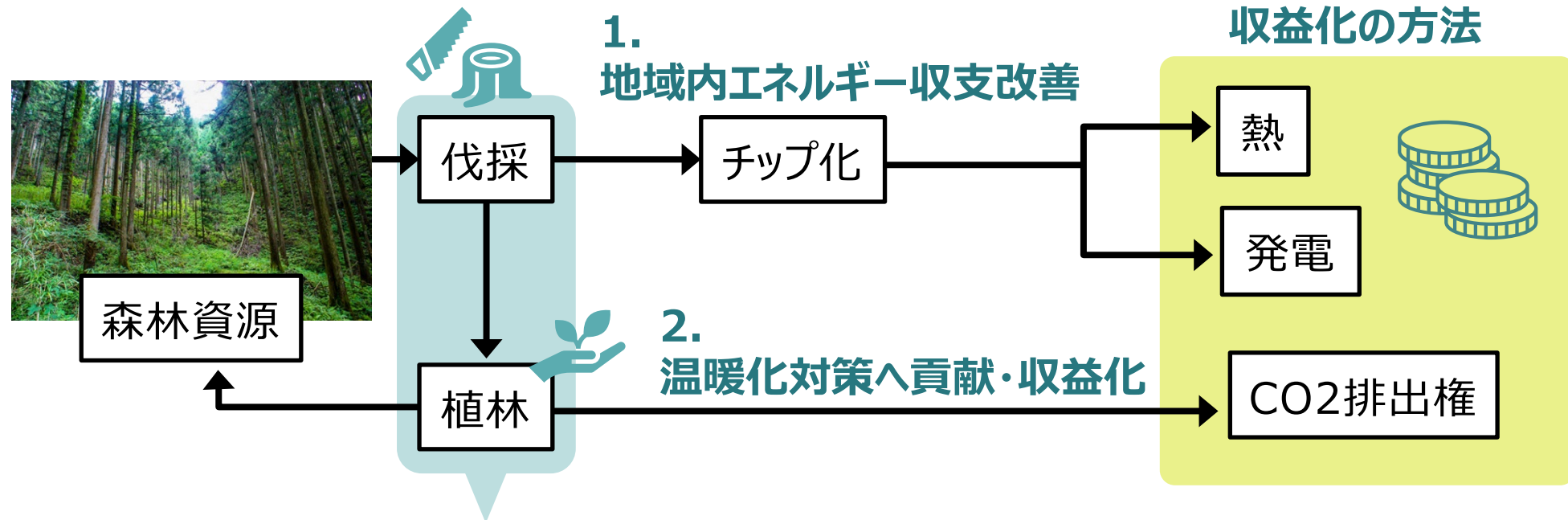
収益の一部を**子供たちの教育のため**
会津若松市へ20年間寄付

+ 4カ所開発中

その他の再生可能エネルギー ② バイオマス事業

林野率が[※]82%を占める会津地域の森林資源を活用

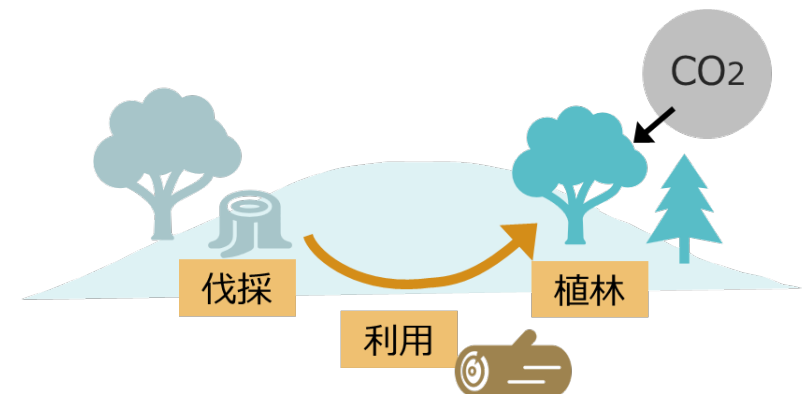
出典：会津地域森林計画書（令和4年）



CO₂ 固定に貢献

CO₂吸着能力が低下[※]した樹木を適切に伐採

樹齢50年で針葉樹はピーク時の半分、広葉樹は1/6まで低下



会津電力(株) はじめ 3 社により
「**川内電力株式会社**」設立

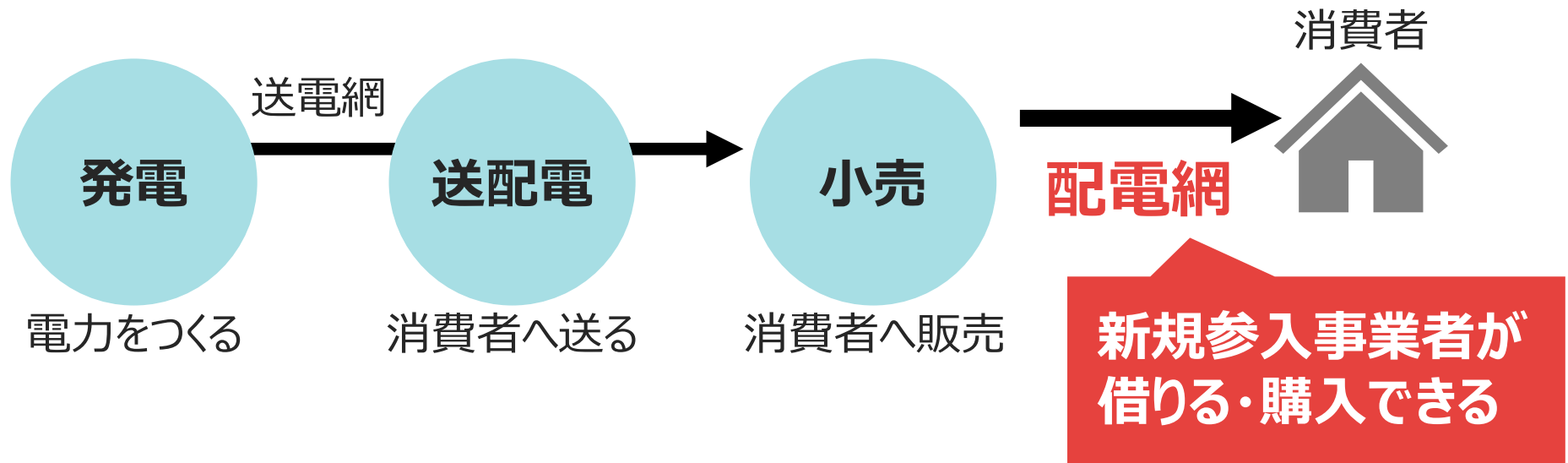
風車定格 発電出力	3.2MW×3基 9.6MW
認定出力 (発電所出力)	6.99MW (連系点で出力制御)
運転開始予定	2023年12月
設置予定地	福島県双葉郡川内村

収益の一部を**子供たちの教育のため**
川内村へ20年間寄付 (数百万円/年)



「配電事業制度」とは

配電事業への新規参入を認める制度。2022年度スタート



地域コミュニティで小規模の発電設備を設置し、
独立運用を行う「**マイクログリッド**」が可能に

弊社も 発電・配電・小売 まで行うことを検討しています

我々の強み

発電所開発

AiNERGY(株)



- 再エネ発電所の設計、施工管理経験が豊富
- 各エネルギー分野専門家との人的ネットワーク

発電

会津電力(株)



- 自治体からの出資（8市町村）
- 再エネ推進の実績とノウハウ

電力小売

会津エナジー(株)



再エネ比率の高い
電力を提供

「2050年脱炭素化」
法律に明記

再エネ推進は必須。
市場は可能性にあふれています。

培ってきた信頼とノウハウで
脱炭素化と持続可能な地域に貢献します

「次世代に、より豊かな社会を引き継ぐため」
これからも社員一丸となって事業に取り組んで参ります。

